

Welcome

C.F.Martin Guitar Performing Artist Series 製品をお使いいただきありがとうございます。ベストなサウンドをお届けできる素晴らしい製品であると自負しております。Fishman F1 Aura は、あなたの音楽の幅を広げ、インスピレーションを与えてくれる事でしょう。

■ Fishman F-1 Aura Pickup System ■

Fishman F1 Aura はノイマンや AKG、シュアなどのコンデンサーやダイナミックマイク等で拾った場合のイメージサウンドとピエゾピックアップをブレンドできる機能を搭載しています。マイクサウンドのバリエーションは各モデル 1 から 9 まで選択可能。また、チューナーやイコライザー、アンチフィードバック、位相の切り替え、コンプレッサーなどの機能も搭載。これによって実に自然なアコースティックサウンドを得ることが出来ます。電池ボックスは、サウンドにあまり影響を及ぼさないエンドブロックに埋め込まれ、ボディに負担をかけることなく、電池の交換が可能です。

Electrical Specifications

Digital Signal Path :

A/D , D/A conversion :	24 bit
Signal Processing :	32 bit
Typical in-use current consumption @ 9VDC :	18 mA
Typical 9V lithium battery life :	54 hour
Typical 9V alkaline battery life :	27 hour
Nominal output impedance :	1k Ohm
Recommended load impedance :	10k Ohm and up
Maximum output level (onset of clipping) :	+5dBV
Baseline noise :	-92dB
Dynamic Range :	97dB
Bass control :	12dB @ 70Hz
Midrange control :	±12dB @ 1kHz
Treble control :	±12dB @ 6.5z

All specifications subject to change without notice.

仕様は予告無しに変更になる場合がございます。

F1 AURA™ USER GUIDE

FISHMAN

www.fishman.com

the Performing Artist Series

Martin & Co.
EST. 1833

Martin & Co.
EST. 1833

the Performing Artist Series

www.martinclubjp.com

FISHMAN

www.fishman.com

QUICK START

始める前にコントロールを図のようにセットします。

1. プラグイン

楽器用のケーブルを使用してください。

2. チューニング

まずVolumeノブを押し続けてチューナー・モードにします。

チューナー・モードになるとアウトプットはミュートされます。

Volumeノブを押すとチューナー・モードが解除されます。

3. 音を出す

ボリュームを適切な音量にセットします。

4. イメージをブレンドさせる

Editノブを回してイメージとピックアップサウンドを適度にブレンドさせます。

5. イメージを選択する

Editノブを1回押すと"1"の文字が表示されます。Editノブを回すとイメージが変化します。

その中からイメージを選択します。

6. トーンを調整する

Editノブを繰り返し押すとピックアップサウンドのトーンが変化します。その中からトーンを選択します。

Editノブを回して調整します。



◆F-1 Aura Pickup System 操作方法

右のボタンを長押しすると音がミュートされ、チューナーモードになります。チューニングを行ったら、再度右ボタンを押すと演奏モードに切り替わります。

◆位相の切り替え

右ボタンを軽く押すと、+ と - の表示が出ます。これは位相の切り替えモードです。

◆イメージのセレクト

左ボタンを押すと最初にイメージの 1 の文字が出ます。1 の文字を出してからダイヤルを回すと

1~9までの数字が出ます。この数字がイメージの表示です。

好きなモードをチョイスしたら、ボタンを押してください。

◆ピックアップサウンドのEQ

大文字の t(トレブル) m(ミドル) b(ベース) の表示でピックアップサウンドに対してEQが行えます。

◆ピックアップとイメージのミックス

x の表示が出ます。x はミックスバランスです。ピックアップとイメージが 5:5 のセンターの場合、表示は 0 になります。右に回し続けるとイメージの 1 が表示 (イメージだけの音) 左に回し続けるとピックアップの p が表示 (ピックアップだけの音) されます。

※全ての設定終了後に左ボタンを左右に回すことによりミックスバランスを演奏時でもすぐに変えることができます。

◆コンプレッサー & アンチフィードバック

c のマークでコンプレッサーをセレクト、A のマークはアンチフィードバックモードです。すべてセレクトしたら、右ボタンを押す。

◆イメージサウンドのEQ

小文字の t(トレブル) m(ミドル) b(ベース) と 3 種類のイコライザーが表示されます。

ここでイメージのサウンドをお好みで EQ してください。

左ボタンを長押ししてプリセット完了です。表示が消えます。



MIC SIMULATOR

▶▶ F-1 Aura Pickup System 搭載 各モデルマイク・シミュレーター

GPCPA-1

#01 DPA 4011-
#02 Schoeps CMC64g
#03 Earthworks QTC30
#04 AKG C414-B
#05 Neumann KM-84
#06 Soundeluxe E47
#07 GT Velo 8
#08 Shure SM57
#09 Neumann U87

DCPA-1

#01 Neumann M-147
#02 Shure SM57
#03 Schoeps CMC64g
#04 Neumann U87
#05 DPA 4011
#06 AKG C414-B
#07 Neumann KM-84
#08 Soundeluxe E-47
#09 GT Velo 8

OMCPA-1

#01 Neumann U87
#02 Schoeps CMC64g
#03 GT Velo 8
#04 Shure SM57
#05 Soundeluxe E-47
#06 Neumann KM-84
#07 AKG C414-B
#08 DPA 4011
#09 Neumann M-147

GPCPA-2

#01 GT Velo 8
#02 Neumann KM-84
#03 Audix SCX25A
#04 Shure SM57
#05 AKG C414-B
#06 Schoeps CMC64g
#07 Neumann M147
#08 DPA 4011
#09 Neumann U87

GPCPA-Mahogany

#01 DPA 4011
#02 GT Velo 8
#03 Earthworks QTC-30
#04 GT Velo 8T
#05 Schoeps CMC64g
#06 Neumann KM 84
#07 AKG C414-B
#08 Neumann M-147
#09 Soundelux E-47

GPCPA-3

#01 GT Velo 8
#02 AKG C414-B
#03 Neumann U87
#04 Neumann KM 84
#05 Soundelux E-47
#06 DPA 4011
#07 Shure SM57
#08 Earthworks QTC 30
#09 Neumann M147

DCPA-3

#01 GT Velo 8T
#02 Neumann KM 84
#03 Earthworks QTC 30
#04 Shure SM57
#05 DPA 4011
#06 AKG C414-B
#07 Neumann U87
#08 Schoeps CMC64g
#09 Neumann M147

OMCPA-3

#01 GT Velo 8
#02 Neumann U87
#03 GT Velo 8T
#04 Schoeps CMC64g
#05 AKG C414-B
#06 Earthworks QTC 30
#07 DPA 4011
#08 Shure SM57
#09 Neumann M147

POWER 電源に関して

ギターにプラグを差し込みますとF1Auraの電源が入ります。バッテリーを節約する為には、F1 Auraを使用しない時にはギター本体からプラグを抜いておきましょう。電源が入ったときには Tuner のディスプレイが光って知らせてくれます。

▶▶ Low Battery Indicator

Tunerが3秒ごとに"L"を表示するようになったらバッテリーの残り時間は約1.5時間です。

RESTORE FACTORY DEFAULTS

▶▶ 工場出荷時の状態に戻すには

1. ギターにプラグを差し込みながらEditノブを押し続けます。Tuner に " R " の表示がでるまで押し続けます。
2. Edit ノブを押し続けながら、Volumeノブを押します。
3. " R " の点滅がとまったら工場出荷時の初期設定は完了です。

*ご注意下さい:

- すべての EQ はフラットになります ■ ピックアップ EQ もフラットになります
- Blend は 50/50 にセットされます ■ Compressor は最小にセットされます
- Anti-Feedback フリークエンシーは 100Hz にリセットされます

MODE INFORMATION F-1 Aura それぞれのモードについて

Play Mode & Edit Mode

F1 Aura には2つのモードがあります。プレイモードとエディットモードです。プレイモードでは頻繁に使用するコントロールの操作が出来ます。エディットモードではさらに多くの機能にアクセス出来ます。

Play Mode

ギターにプラグを差し込みますとF1 Aura の電源が入りプレイモードとなります。

プレイモードでは、ボリューム、ブレンド、フェイズの調整が可能です。ノブの操作によって チューナー、アンチフィードバック も使用可能です。

Edit Mode

エディットノブを押すと、エディットモードになります。チューナーの緑色のLEDが点等します。さらにエディットノブを押すごとに機能が変わります。エディットノブを回すことによって調整を行います。チューナーのライトが調節の具合を示します。F1 Aura はプログラムが可能です。また、自動的にセッティングを保存します。

PLAY MODE CONTROLS

エディット / ボリューム両方のノブを押すとアンチフィードバック・サーチが起動します。

① エディットノブ

エディットノブを回すことによってピックアップサウンドとイメージサウンドのブレンド具合を調節します。

② ボリュームノブ

ボリュームを調節します。

チューナーモード

ボリュームノブを2秒間押し続けるとチューナーモードになります。チューナーモードを終了する場合はボリュームノブを再度押してください。

フェイズモード

ボリュームノブを押しながら回すことでフェイズ(位相)を調節できます。

エディットモードからプレイモードに戻るにはディスプレイが暗くなるまで10秒待つか、エディットノブを2秒間押し続けます。または、エディットノブとボリュームノブの同時押しですぐにプレイモードに戻れます。

PLAY MODE CONTROLS (CONT.)

Volume

ボリュームノブを回して音が割れたり歪んだりしない程度に調整します。

Phase

ボリュームノブを1回押します。フェイズセッティングを利用して低音を調節しフィードバックを抑えます。ボリュームノブを何度か押してみて、1番心地よいポジションのままにしておきます。

Tuner

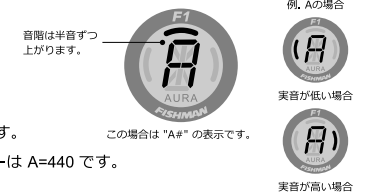
ボリュームノブを2秒間押しますとチューナー機能になります。

ボリュームノブをもう1回押しますと元に戻ります。

チューナー使用時にはアウトプットがミュートされます。

ギターにケーブルを差し込まなくてもチューナーを使用する事が出来ます。

何も操作をしなれば90秒後に電源がオフになります。このチューナーはA=440です。



Blend

エディットノブを押さずに回します。イメージサウンドとピックアップサウンドのブレンド具合を調節します。

P = ピックアップの音 100%

O = ピックアップの音 50% & イメージサウンド 50%

I = イメージサウンド 100%



※ライブ演奏時にはイメージサウンドを少し抑えてピックアップの音を65%ぐらいに、レコーディング時にはイメージサウンドを多めにブレンドしてみてください。

ABOUT AUTOMATIC ANTI-FEEDBACK

フェイズとあわせてオートマッチック・アンチフィードバックを使用してください。フィードバックをコントロールする事が出来ます。オートマッチック・アンチフィードバックは特定の周波数を減少させ、細かなトーン・コントロールが可能となります。最大で3つの別々のフィルターがフィードバックの原因となりうる共鳴音を特定し減少させます。オートマッチック・アンチフィードバックは効果的ですが、演奏前のセッティング時に環境や音響を出来るだけチェックする事が大切です。

Automatic Anti-Feedback Control

エディットノブとボリュームノブを同時に2秒間押します。チューナーのディスプレイに "1" が点滅します。これは1つ目のフィードバックを探している印です。ボリュームを上げて、ボディを軽く叩きながら弦を鳴らしたり、弾いてみたりしながらフィードバックを起こします。フィルターが自動的にフィードバックを抑えてくれます。すると "1" は点灯したままになります。次に、もっとボリュームを上げてみます。問題となりうる共鳴音が発生すると "2" が点滅します。共鳴音が特定されると "2" が点灯したままになります。その次の "3" についても同様です。ボリュームノブを押すとオートマッチック・アンチフィードバックの動作がキャンセルされます。特定された共鳴音は、次にオートマッチック・アンチフィードバックを使用するまで一時的に保存されます。

EDIT MODE CONTROLS

エディットノブを押すと、エディットモードになります。チューナーのグリーン LED が点等します。

さらにエディットノブを押すごとに機能が変わります。それぞれの機能は 1 文字で表示されます。

機能を選択したらエディットノブを回して調整をします。数字が表示され調整の度合いを示します。

F1 Aura はプログラムが可能です。また、自動的にセッティングを保存します。

① エディットノブを押してエディットモードにしてください。



② 変更したいパラメーターに合わせて、エディットノブを回して設定を変更してください。



エディットモードからプレイモードに戻るにはディスプレイが暗くなるまで 10 秒待つか、エディットノブを 2 秒間押し続けます。または、エディットノブとボリュームノブを同時に押せばすぐにプレイモードに戻れます。

EDIT MODE CONTROLS (CONT.)

■ Image Select

F1 Aura は工場出荷時にすでにサウンド・イメージがインプットされています。違ったマイクのタイプやポジションで作成したサウンド・イメージです。

■ Pickup EQ

トレブル、ミドル、ベースを使ってピックアップからのシグナルを調整出来ます。このトーン・コントロールはそれぞれ "T"、"M"、"B" と表示されます。

■ Blend

Blend は "X" と表示されます。

■ Compressor

コンプレッサー (C) は、洗練された自動レベル設定によってセッティングを調整します。コンプレッサーを効かせていくと、それに伴ってダイナミクスが制限されていきますが、ソフトな音もラウドになっています。音量をある程度のレベルに保っておきたい場合には非常に効果的です。最大にするとアウトプット・レベルが高くなりすぎるかもしれません。

■ Anti-Feedback

"A" の文字で表されます。必要に応じて ON と OFF とを切り替えていただけます。

"O" = OFF "I" = ON

EDIT MODE CONTROLS (CONT.)

■ Image EQ

それぞれのイメージサウンドに対してあなた独自の EQ セッティングをプログラムすることが可能です。

エディットモードの他の機能とは違って、あなた独自の EQ を保存できます。設定をしたイメージサウンドが選択されると、あなた独自の EQ が呼び出されます。

変更のミスなどが発生しないようにイメージ EQ のトレブル、ミドル、ベースは Pickup EQ とは別になっています。エディットモードのボリュームノブを使って調整します。

それぞれ "t"、"m"、"b" と表示されます。

※ イメージサウンドを EQ するには...

- 1 ブレンドコントロールを使ってイメージサウンドを 100% にします。
- 2 エディットノブを押してエディットモードにして、イメージサウンドを選びます
- 3 ボリュームボタンを押して "Image Treble (t)" を選びます
- 4 エディットノブを回して "Image Treble (t)" をブーストもしくはカットします
- 5 ステップ3と4を繰り返して "ミドル (m)" と "ベース (b)" を調整します

EDIT MODE PARAMETERS

